



2020 年度（令和 2 年度・第 6 期）

事業計画書

1. 2020 年度 事業方針
2. 2020 年度 事業計画書
3. 2020 年度 活動予算書
4. 中期計画目標（2025 ビジョン）

認定特定非営利活動法人ポケットサポート

1. 2020 年度 事業方針

2025 年ビジョンである「病気を抱える子どもたちが将来に希望をもって自分らしく暮らせる社会」をつくっていくために、2020 年度の事業方針は以下の通り実施していきたいと思います。

前年度から引き続き支援を行なっている子どもを含め、今年度も自宅での長期療養児への双方向 WEB 学習支援、訪問による学習・復学支援を継続します。長期入院児に対しては、岡山県教育委員会特別支援教育課専門家チームとして、県立の高等学校に在籍する生徒への遠隔授業の補助を行うなど、連携しながら高校生世代を中心とした復学支援を行います。

全ての学習・復学支援事業に関して、必要なご家族に届くよう、案内チラシなどを医療施設の外来への設置をお願いするなどして、広報していくたいと思います。大学生の学習支援ボランティアの募集や育成は、年 2 ~ 3 回の開催でボランティアの人員を確保しつつ、個別支援や双方向ウェブ支援、病院内の活動など、幅広く活動できるように育成していきたいと考えています。

岡山市小児慢性疾病児童等相互交流支援業務を中心とし、市内の総合病院並びに支援拠点である事務所での子どもたちやご家族との交流を行い、孤立感の解消や、闘病しながらも将来に希望の持てる関わりを行っていきます。季節ごとの交流イベントは継続し、退院後も子どもたちやご家族が集まれる環境を作っていきたいと思います。

最近では、交流イベントや活動に参加した子どもたちがサポート役に回る場面も出てきており、高校生年代になった子どもたちにポケットサポートの交流活動のスタッフとして参加してもらうことで、積極的に彼らの自己肯定感や自己有用感を高められるようにしたいと思います。

現在、活動への理解者（社）が増え、地域支援ネットワーク作りが広がっています。支援活動にご協力いただける支援者を増やしていく、また今年度は助成事業で岡山県内の学校への調査を行い、その内容を発表する機会を通じた講演活動や啓発イベントを行います。

昨年度は、当団体を手本に、香川と福岡の 2 つの地域で病弱児やきょうだいへの支援活動を行う団体が動き出しました。今年度は、その団体へのフォローアップなども行なっていき、合わせて講師派遣を行なっていきます。

支援活動や寄付等でつながりのできた企業や機関が開催するイベントへの出店を試み、当団体を通じて病弱児への支援に関する啓発を勧めていきたいと考えています。

認定 NPO 法人、グッドガバナンスの取得など、安心して支援いただける団体としての基盤をもとに、今年度もファンドレイジングに積極的に挑戦しながら、継続的に支援が行える体制作りに取り組んでいきます。

長期療養経験のある支援員の存在は、子どもたちにとって病気があっても未来に対して希望をもっていきたいける存在になります。将来的にピアである支援員を新たに雇用していく準備も整えていきたいと考えています。

2025 ビジョン達成のために今年度は、ポケットサポート主催での事業へ他団体を招くことに限らず、他団体主催の事業へのコラボレーションや、地域のイベントなどに関わりながら、病気の子どもたちの支援の輪を広げていくための認知を広げ、実施に繋げられるような広がりをつくりていく地域や社会との関わりを増やしていく年度にしていきたいと思います。

代表理事 三好 祐也

2. 2020年度（令和2年度・第6期）事業計画書

(1) 病弱児の身体的精神的状態に合わせた学習復学支援事業

事業名	事業内容	区分	日時・場所	支出見込額
個別学習支援	自宅療養中や復学初期の子どもに対しての学習サポート	自主	随 時	800,000
双向WEB学習支援	ICT機器とWEBを活用した学習支援	自主	随 時	500,000
ボランティア育成	学習支援及び相互交流支援を行う人材育成、ボランティアリーダー育成	助成	年5回 公共施設等	500,000
ポケサポポイント	慢性疾病を抱える子どもの学ぶ意欲支援事業	助成	随 時	1,000,000
			小計	2,800,000

(2) 病弱児同士の交流や集団での学習活動支援事業

事業名	事業内容	区分	日時・場所	支出見込額
ポケットスペース	利用者の環境に応じた相互交流、ピアサポート相談、学習支援を実施	受託	年間130日 市内3拠点	2,300,000
交流イベント	季節に応じた交流イベントの開催	自主	年4回 公共施設等	500,000
きょうだい・家族ケア	当事者同士の語らいによるピアサポート、自分らしい家族形成支援	自主	年4回 公共施設等	300,000
			小計	3,100,000

(3) 病弱児への支援に関する啓発・講演活動及び講師派遣事業

事業名	事業内容	区分	日時・場所	支出見込額
講師派遣事業	大学等の教育機関や研修会等に講師を派遣し病弱児支援について広報、周知活動	謝金	随 時	392,000
副島先生講演会	病弱児の教育や療養環境について講演会開催	自主 助成	8月：岡山大学 Jホール	500,000
ニーズ調査事業	学校現場における病気を抱える子どもの支援課題調査と啓発事業	助成	8月：調査 2月：報告会	2,000,000
			小計	2,892,000

事業費合計：8,792,000円

3. 2020年度（令和2年度・第6期）活動予算書

	令和2年度 予算額		
【経常収益】			
【受取会費】			
正会員受取会費	300,000		
賛助会員受取会費	700,000		1,000,000
【受取寄付金】			
受取寄付金	3,800,000		
ボランティア受入評価益	400,000		4,200,000
【受取助成金等】			
受取助成金			3,000,000
【事業収益】			
自主事業収益(イベント収益、執筆)	50,000		
受託事業収益	1,800,000		
事業収益1 (講演料)	350,000		
事業収益2 (個別訪問学習支援)	200,000		2,400,000
【その他収益】			
受取 利息	30		
雑 収 益	200,000		200,030
経常収益 計			10,800,030
【経常費用】			
【事業費】			
(人件費)			
給料 手当(事業)	2,500,000		
役員報酬(学習支援)	1,776,000		
臨時雇賃金	200,000		
ボランティア評価費用	300,000		
法定福利費(事業)	600,000		
福利厚生費(事業)	10,000		
人件費計	5,386,000		
(その他経費)			
業務委託費	180,000		
諸 謝 金	150,000		
印刷製本費(事業)	150,000		
図 書 費(事業)	20,000		
会 議 費(事業)	200,000		
旅費交通費(事業)	150,000		
通信運搬費(事業)	900,000		
文 具 費(事業)	50,000		
水道光熱費(事業)	36,000		
消耗品 費(事業)	600,000		
広告宣伝費(事業)	100,000		
会 場 費(事業)	60,000		
賃 借 料(事業)	500,000		
保 険 料(事業)	30,000		
支払手数料(事業)	80,000		
雑 費(事業)	200,000		
その他経費計	3,406,000		
事業費 計			8,792,000
【管理費】			
(人件費)			
役員 報酬	444,000		
給料 手当	300,000		
ボランティア評価費用	100,000		
法定福利費	100,000		
人件費計	944,000		
(その他経費)			
会 議 費	20,000		
図 書 費	2,000		
旅費交通費	30,000		
通信運搬費	80,000		
消耗品 費	50,000		
地代 家賃	100,000		
諸 会 費	10,000		
租税 公課	5,000		
支払手数料	60,000		
雑 費	100,000		
その他経費計	457,000		
管理費 計			1,401,000
経常費用 計			10,193,000
当期経常増減額			607,030
【経常外収益】			
経常外収益 計			0
【経常外費用】			
過年度損益修正損			0
経常外費用 計			0
税引前当期正味財産増減額			607,030
当期正味財産増減額			607,030
前期繰越正味財産額			1,951,908
次期繰越正味財産額			2,558,938

4. 中期計画目標（2025 ビジョン）

Vision (解決を目指す社会問題および実現を目指す理想像)

病気を抱える子どもが、将来に希望を持ち自分らしく暮らせる社会をつくる

Mission (ポケットサポートが社会で果たすべき使命)

1. 『環境をつくる』

病気を抱えていても子どもらしい時間が過ごせるように
学習支援・復学支援・自立支援ができる環境をつくる

2. 『生きる力を育む』

病気による困難を抱えていても前向きに生きていくよう
当事者や専門家と共に子どもや家族の「生きる力」を育む

3. 『人や気持ちを繋ぐ』

病気の子どもに関わる人をつなぐコーディネートを行うと共に
社会への理解啓発を行い理解者・支援者を増やしていく

<2025 年度に実現を目指す社会や対象の状況>

1.『環境をつくる』取り組み

- ①学習、遊び、体験、相談を通した復学支援・自立支援を行う
- ②外出困難な子どもや家族へ、アウトリーチや ICT 利用による学習や相談支援を行う
- ③入院中や療養中の子どもの対応を個別に検討
- ④教育行政や学校現場と連携し、慢性疾病等の小学生～高校生の入院中及び療養中の教育機会の提供を目指す(ICT 利用による学習、出席代替のシステム作り等)
- ⑤スタッフ及び支援ボランティアをはじめとする支援者の育成と教育
- ⑥岡山市内・近隣地域を含む医療機関内の支援活動を行う

2.『生きる力を育む』取り組み

- ①子どもたちが自分自身の困難を知り「伝える努力」と「休む勇気」持てるよう
ピアサポートを通じて、合理的配慮を得るための手法を伝え広める
- ②保護者が集まり日頃の悩みを話す場、ピアカウンセリングできる場を提供
- ③病弱児やそのきょうだいも楽しめるイベントを開催
- ④病弱の若年者が働く環境作りの協力と支援

3.『人や気持ちを繋ぐ』取り組み

- ①医療・保健行政との連携による、慢性疾患児やその家族との関係構築
- ②岡山市内・近隣地域の学校との連携による、慢性疾患児の学校生活における個別案件の共有
- ③他の病弱児支援団体との連携やノウハウの共有・会の共催
- ④病弱児の置かれている環境の理解を広げる講演・啓発活動開催、ツール作成